

# 第16回シンポジウム、プログラム

出典: 環瀬戸内応用数理研究部会

## 目次

- 1 日本応用数学会環瀬戸内応用数理研究部会(講演プログラム案)
  - 1.1 1月5日(土)午後
  - 1.2 1月6日(日)午前
  - 1.3 1月6日(日)午後

## 日本応用数学会環瀬戸内応用数理研究部会(講演プログラム案)

第16回シンポジウム 於 愛媛大学(2013年1月5日~6日)

**1月5日(土)午後**

セッション1 13:00-15:20 座長:天野 要(愛媛大学)

外接半径条件と曲面の定義との関係について

小林 健太(一橋大学)、土屋 卓也(愛媛大学)

スリットを含む矩形領域の双方向の数値等角写像

副 智彦(愛媛大学大学院)、岡野 大、遠藤 慶一、天野 要(愛媛大学)

線形2値パターンの良さ判断における構造認知の頑健性

広瀬 裕一(愛媛大学大学院)、遠藤 慶一、岡野 大、福岡 訓子、天野 要(愛媛大学)、小西 敏雄(松山東雲女子大学)

ルジャンドル陪関数の変形と応用-6

田川 昭夫(ミナト医科学株式会社)

セッション2 15:35-17:55 座長:黒田 久泰(愛媛大学)

エントロピー型カオス尺度の性質について

井上 啓(山口東京理科大学)

SPARK3型リダクションを適用した多倍長高次陰的Runge-Kutta法の数値的性質について

幸谷 智紀(静岡理工科大学)

OpenFOAMを用いたマイクロチャンネル内の液々二相交互流の数値解析

松野 弘貴(岡山理科大学大学院)、平野 博之、岡本 直孝、桑木 賢也(岡山理科大学)

3種の生物の捕食・競争数学モデルにおける種々のパラメータ依存性に関する研究

畑上 到(金沢大学)、和泉 明憲(金沢大学大学院)

**1月6日(日)午前**

セッション3 10:00-11:45 座長:岡野 大(愛媛大学)

FX10における疎行列ベクトル積で必要となる通信部分の高速化について

**田中 献大**(愛媛大学大学院)、**黒田 久泰**(愛媛大学)

並列版CG法の収束性評価 -計算量削減と4倍精度の活用による丸め誤差伝搬-

**村上 啓一**(九州大学大学院)、**本谷 徹**、**須田 礼二**(東京大学)、**藤野 清次**(九州大学)

“バニラ”版積型解法の特性調査

**藤野 清次**(九州大学)、**村上 啓一**(九州大学大学院)

1月6日(日)午後

セッション4 13:15-15:00 座長: **土屋 卓也**(愛媛大学)

信号なし交差点交通シミュレーションについて

**尾添 和真**(岡山理科大学大学院)、**河野 敏行**(岡山理科大学)

粒子法シミュレーションにおける反復解法の比較

**久保 泰明**(岡山理科大学大学院)、**河野 敏行**(岡山理科大学)

代用電荷法によるKoebe (1916)の正準スリット領域への数値等角写像

**天野 要**、**岡野 大**、**遠藤 慶一**(愛媛大学)、**緒方 秀教**(電気通信大学)

- **太字**は登壇者
- 座長は仮のものです。

“<http://kansetouchi.cs.ehime-u.ac.jp/mediawiki/index.php/%E7%AC%AC16%E5%9B%9E%E3%82%B7%E3%83%B3%E3%83%9D%E3%82%B8%E3%82%A6%E3%83%A0%E3%80%81%E3%83%97%E3%83%AD%E3%82%B0%E3%83%A9%E3%83%A0>” より作成

- 最終更新 2012年12月13日(木) 20:17